

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成26年5月分)について

(1) 問い合わせ件数

平成26年5月1日～平成26年5月30日 55 件
(うち、放射性物質関連 3 件)

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	8 件	
委員会	0 件	
リスクコミュニケーション	8 件	食中毒菌写真転載依頼(4 件)、豚伝染病(1 件)、用語集(1 件)、情報提供(1 件)、アンケート調査(1 件)
基本法	0 件	
② 食品健康影響評価関係	12 件	
評価全般	0 件	
化学物質系	6 件	食品添加物(3 件)、トランス脂肪酸(2 件)、農薬(1 件)
生物系	3 件	ボツリヌス菌(1 件)、トキソプラズマ(1 件)、 コンフリー(1 件)
新食品	2 件	遺伝子組換え食品(1 件)、大豆イソフラボン(1 件)
プリオン	0 件	
その他	1 件	放射性物質(1 件)
③ 食品一般(リスク管理等)関係	34 件	
化学物質系	8 件	食品添加物(3 件)、農薬(1 件)、器具・容器包装(1 件) 動物用医薬品(1 件)、トランス脂肪酸(1 件)他
生物系	2 件	自然毒(1 件)、鳥インフルエンザ(1 件)
新食品	5 件	健康食品(3 件)、大豆イソフラボン(1 件)、クローン牛(1 件)
プリオン	0 件	
衛生関係	13 件	輸入食品(7 件)、衛生管理(2 件)、腐敗(1 件)、冷凍食品(1 件)他
食品表示関係	4 件	原料原産地表示(1 件)、優良誤認(1 件)、成形肉(1 件)他
その他	2 件	放射性物質基準値(2 件)
④ その他	1 件	

(参考) 問い合わせ件数推移

H25 年								H26 年				
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
64	60	61	75	42	70	51	49	89	72	54	62	55

(3) 主な質問とその回答

○委員会関係

【食品安全委員会の情報提供】

・食品の安全に関する情報を消費者に手軽に提供するサービスを行いたいと考えているが、食品安全委員会が持っている莫大な情報や資料を使用して、情報提供を行っていかどうか教えてほしい。

⇒当委員会では、委員会の結果や会議資料等を含め、知的財産権等に抵触しない範囲の情報は原則公開としており、ホームページに掲載している情報は、内容の趣旨を変更せず営利を目的としないご利用であれば、出典明記の上で引用可能。しかしその際は、「ホームページについて」の留意事項に沿った利用をお願いしているので、ご参照いただきたい。

http://www.fsc.go.jp/sonota/homepage_link.html

○食品健康影響評価関係

【ボツリヌス菌】

・3か月の息子を病院に連れて行ったところ、医師から粉薬を処方され、はちみつに混ぜ、飲ませやすくして与えて下さいと言われ、その通り飲ませた。その後インターネットで調べたら、1歳未満の乳児には蜂蜜を与えないようにと書かれており、驚いた。乳児に蜂蜜を与えてはいけないという根拠を知りたい。蜂蜜にはそのような表示はなかった。現在、息子の健康状態は良好だが、心配である。

⇒生後1年未満の乳児が蜂蜜を摂取した場合、はちみつに含まれるボツリヌス菌の芽胞が消化管内で増殖し、乳児ボツリヌス症になることがある。当委員会のファクトシート（平成23年11月24日）及び国立感染症研究所レファレンス委員会・地方衛生研究所全国協議会発行のボツリヌス症（平成24年12月7日）の資料から乳児ボツリヌス症について説明。発症までの潜伏期間は3日から30日までと言われている。心配であれば、再度医師に相談することをお薦めする。

【コンフリー】

・食品安全委員会では、以前コンフリーを食べるのはよくないと発表したそうだが、今もそうなのか知りたい。庭にコンフリーがあり、ミックスジュースなどで使用している。

⇒平成16年3月に厚生労働省よりコンフリー及びコンフリーを含む食品についての食品健康影響評価要請があり、当委員会で食品健康影響評価を行い、コンフリーを食べることによる健康被害の可能性を否定できない旨を厚生労働省に通知した。

厚生労働省はこの評価を受けて、コンフリーとコンフリーを含む食品の製造、販売、輸入を禁止した。コンフリーによる健康被害は、コンフリーに含まれるピロリジジナルカロイドの作用によるものと考えられており、海外では肝静脈閉塞性疾患などの被害が報告されている。コンフリーは食べないように、ご注意いただきたい。